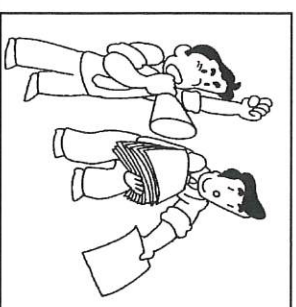


694号



〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日  
 検数会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール roren@kensu.jp  
 ホームページ http://www.kensu.jp/  
 全国検数労働組合連合  
 書記局

# 全国 検数労連

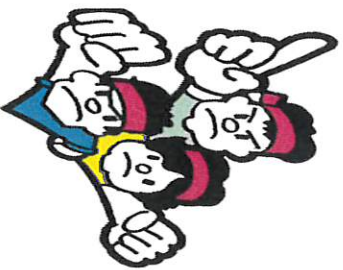
## 3月30日(水) 第4回 検数労連22春闘交渉 14:00~14:30 両協会に有額回答・諸要求『回答未提示』不満表明 次回交渉で回答提示を強く求める!!!

**【第4回22春闘交渉】**  
 3月30日(水)に開催した第4回検数労連22春闘交渉で、組合は両協会に対し、賃金引き上げを含む有額回答、諸要求の提示を求め交渉を行いました。

**【日検協会】**  
 21年度事業計画についての最終見込み、22年度事業計画についての最終見込み、21年度労務費の進捗が確認できたところである。

**【日検協会】**  
 21年度事業計画についての最終見込み、22年度事業計画についての最終見込み、21年度労務費の進捗が確認できたところである。

**【全日検】**  
 21年度収支状況、22年度収支予測については内部確認したが、コロナ感染拡大、半導体不足問題、ロシア軍事侵攻問題などの影響による経済の減速懸念が払拭できない状況にある。また、中央港湾回交や船内関係の進捗が見通せない状況のもと、本日の交渉で有額回答の提示は困難であることをご理解いただき、しばらく時間的猶予をいただきたい。



**【組合主張】**  
 組合は両協会に次の通り主張しました。  
 2月16日に要求提出以降、約1か月半が経過しているにも関わらず有額回答が示されないことは、職場の最前線で奮闘している組合員の気持ちを逆なでする行為であるとともに、春闘解決に向けた経営姿勢がまったく見えて来ない。中央港湾回交や船内関係の進捗が見えてこないとの理由で有額回答・諸要求回答の提示ができない国支部長会議で数字的な部分を認めるのではなく両協会の主体性を確認していただくところである。

**【日検協会】**  
 21年度事業計画についての最終見込み、22年度事業計画についての最終見込み、21年度労務費の進捗が確認できたところである。

**【日検協会】**  
 21年度事業計画についての最終見込み、22年度事業計画についての最終見込み、21年度労務費の進捗が確認できたところである。

**【全日検】**  
 21年度収支状況、22年度収支予測については内部確認したが、コロナ感染拡大、半導体不足問題、ロシア軍事侵攻問題などの影響による経済の減速懸念が払拭できない状況にある。また、中央港湾回交や船内関係の進捗が見通せない状況のもと、本日の交渉で有額回答の提示は困難であることをご理解いただき、しばらく時間的猶予をいただきたい。

**【全日検】**  
 21年度収支状況、22年度収支予測については内部確認したが、コロナ感染拡大、半導体不足問題、ロシア軍事侵攻問題などの影響による経済の減速懸念が払拭できない状況にある。また、中央港湾回交や船内関係の進捗が見通せない状況のもと、本日の交渉で有額回答の提示は困難であることをご理解いただき、しばらく時間的猶予をいただきたい。

**次回交渉**  
 4月5日(火)15時～  
 引き続き有額回答を求め  
 ていきます!!!

**全国港湾・港運同盟**  
 合同中央闘争委員会  
 意思統一はかる!!!

3月29日(火)合同中央闘争委員会が開催され、第3回中央港湾回交で『行動の自由を留保する』と宣言した中、エーガー・元請業者に對しての申し入れ行動は、次回交渉での回答をもって実施するか否かを確定していくこととした。

第4回中央港湾回交での業側の回答が注目される。  
 次回、中央港湾回交日程  
 4月8日(金)日程おさえて

日検労九州支部  
 3年ぶりに若手中心の  
 検数労連中央オクルグ開催!!!



講師 瀬戸中央執行委員長

日検労中央岡田書記長からは、企業内課題について、現在の日検労中央の動きについての説明がされました。

その後、質疑、意見交換が行われ、九州支部よりこれまでの春闘の回答の在り方や総額にじわる戦いをお願い、週休2日制についての時間外基礎分母について、各地域が混乱しないために早めの協議をお願いしたいとしました。青年部からの発言などもあり、短時間での開催となりました。参加した各地域役員からはオクルグが、参加した各地域役員からはオクルグが決まった時から、中央執行委員の皆様の話が聞けると楽しみにしていたという声も聞きました。また、九州支部の新執行委員からも話を聞いて良い刺激となつた活動に意欲が出てきました。3月23日(水)博多港センタービル本館にて、検数労連中央の瀬戸執行委員長、石橋副執行委員長並びに、日検労中央岡田書記長に来て頂き、九州支部からは執行部、各分会から16名が参加し22春闘オクルグを開催しました。

瀬戸中央執行委員長より、検数労連の22春闘の動きを産別も絡めて説明していただきました。また、これまでの賃上げは魅力的な賃上げになっておらず、22春闘では大幅な賃上げが必ずやと強調されました。また、昨年の導入された終わりではなく、より一層休みやすい環境を目指すことが大切であるとしました。

石橋副委員長からは組織拡大・強化の観点から活動の『見える化』が大切であり、モノが言えない人に対してケアしていくことが重要であるとしました。また、組合の役員だけでなく、全員で行動に参加することが大切であると、参加することによって輪が広がり、強化に繋がっていくと説明されました。



検数労連中央・日検労九州支部との集合写真